

すいどう にゆーす



漏水の復旧訓練の様子

No.45

平成27年(2015年)2月1日発行

発行:吹田市水道部 〒564-8551 吹田市南吹田3-3-60 TEL 6384-1251(代表)

吹田市水道部ホームページ <http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-suido.html>

阪神淡路大震災から20年

平成7年(1995年)1月17日に発生した兵庫県南部地震により、近畿圏は甚大な被害を受けました。吹田市水道部ではこの阪神淡路大震災での応急給水・復旧活動や東日本大震災での応急給水活動の経験と教訓をもとに、様々な災害対策を進めてきました。そしてこれらを次世代の職員にも継承し、より強固な防災体制を築いていきたいと考えています。

災害に備えて取り組んできたこと



2台

給水タンク車(2トン)

タンクで水道水を運ぶとともに、ポンプの圧力で給水できます。



11個

給水タンク(1~2トン)

トラックの荷台に乗せて水道水を給水所等に運びます。



8台

可搬式浄水装置

プールの水などを浄水・消毒し、飲める水にする装置です。



23個

仮設貯水槽

避難所等で給水タンク車から水道水を移し、給水します。



100個

連結型臨時給水栓

消火栓などにつなぎ、一度に複数のじゃ口から給水します。



6か所

緊急遮断弁

強い揺れを感知したときに弁が自動的に閉じることで、配水池内部から水道水が流出するのを防ぎます。

地震に負けない水道に

平成7年度から水道管の中でも特に重要な基幹管路の耐震化を、平成21年度からは配水池の耐震化を進めてきました。平成25年度末で基幹管路の耐震化率は35.0%、配水池の耐震化率は63.8%になっています。

連携体制の強化

日本水道協会、大阪広域水道企業団、北摂各市町及び吹田市水道・土木事業協同組合と様々な相互協定を結んでいます。

- 応急給水 ● 応急復旧
- 資機材等の応援
- 隣接市との配水管相互連絡管による応援給水

防災訓練

市主催の訓練や他の水道事業者との合同訓練、あるいは職員と水道災害サポーターとの合同訓練や自治会・小学校等が実施する訓練への参加など、毎年様々な防災訓練を実施し、職員のスキルアップを図っています。



~ひとりひとりにできること~

1. 飲料水の備蓄

目安は「1人1日3リットル、7日分で21リットル」です。道路状況などにより水道水をお届けするのに時間がかかる場合もあります。ご家庭や職場で飲料水の備蓄やポリタンクなどの準備があれば安心です。



2. 防災訓練への参加

自治会などで実施する防災訓練に参加したり、各家庭で行動の確認をしたり、いざというときにすぐ行動できるようにしましょう。



3. 災害時給水拠点の確認

災害時に飲料水を給水し、非常用飲料水袋などを備蓄している災害時給水拠点を整備しています。ご確認ください。



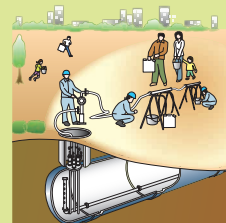
- 1 連間配水場(青山台3)
- 2 大阪大学西門付近(山田丘1)
- 3 津雲配水場(津雲台4)
- 4 山田配水場(千里丘西)
- 5 佐井寺配水場(千里山東4)
- 6 千里山配水場(千里山西4)
- 7 片山浄水所(朝日が丘町)
- 8 泉浄水所(南吹田3)
- 9 吹田操車場跡地耐震性貯水槽(設置予定)



~今後の計画~

- 吹田操車場跡地に耐震性貯水槽(下図)を設置し、災害時給水拠点を9か所にします。

- 災害時給水拠点に加え、より身近な場所として、小学校等の避難所に可搬式浄水装置や仮設貯水槽を配備し、災害時給水所として整備を進めます。



- 基幹管路や施設の耐震化を順次進めます。
- 災害時に拠点となる病院や避難所となる小・中学校など重要給水施設への配水管の耐震化を優先的に進めます。